

地	X	開 催 日	時間	場所	参加費	内 容:持 ち 物
仁	井	14日 (木)	13時半~	仁井公民館	自費	モップ作り(仕上げ)/はさみ
		18日(月)	13時半~	オアシス久野々	自費	モップ作り(仕上げ)/はさみ
		13日(水)	13時半~	小田太田クラブ	自費	ポケットティッシュケース作り/裁縫道具
野		11日 (月)	10時~	江崎集会所	1,035円	干支作り/ピンセット、目打ち、ハサミ
		25日 (月)	14時~	常盤集会所	1,750円	干支作り/ピンセット、目打ち、ハサミ
		5日(火)	10時~	平林公会堂	1,750円	干支作り/ピンセット、目打ち、ハサミ
		20日(水)	13時半~	野島浜集会所	自費	干支作り/ピンセット、目打ち、ハサミ
		26日(火)	13時~	東ノ町会館(福寿会館)	100円	人権DVD鑑賞
		25日(月)	13時半~	中ノ町集会所	自費	お楽しみ
		19日(火)	13時半~	西之町内会館	自費	干支/ハサミ、目打ち、ピンセット
		13日(水)	13時半~	石田公会堂	100円	人権DVD鑑賞、ご長寿カルタ
		6日 (水)	13時半~	浅野県住集会所	自費	ティッシュケース作り/裁縫道具
浅	野	14日(木)	13時半~	斗ノ内里集会所	自費	カゴの続き③、干支/ハサミ、ピンセット、目打ち
		14日・28日 (木)	10時~	ホットほっと(斗ノ内浜集会所)	200円	出前講座、28日(木)は、コンサート(500円)
		20日(水)	13時半~	浅野南集会所	1,420円	干支/ハサミ、目打ち、ピンセット
		12日(火)	13時半~	水越会館	1,420円	干支/ハサミ、目打ち、ピンセット
		18日 (月)	13時半~	北淡総合福祉センター	100円	PPバンドのカゴバックの続き/ハサミ
育	波	12日(火)	10時~	育波公民館	1,035円	干支作り/ピンセット、目打ち、ハサミ
		11日 (月)	13時半~	黒谷公会堂	自費	アイラップで蒸しパン、レトルトを使い炊き込みご飯他作り
		6日 (水)	10時~	五斗長公会堂	1,035円	干支作り/ピンセット、目打ち、ハサミ
		11日 (月)	13時半~	生田集会所	自費	ふくろうタペストリー作り/ピンセット、目打ち、ハサミ
		12日(火)	13時半~	育波集会所	100円	干支(仕上げ)/ハサミ、目打ち、ピンセット
		13日 (水)	10時~	「カフェついで」漁民住宅付近	100円	※浜道路の幟を曲がった2軒目です。
		11日 (月)	13時半	ほっこりワクワクウーマン	100円	干支の続き/目打ち、ハサミ、ピンセット
室	津	15日(金)	13時半~	室津ふれあいセンター	200円	布の柿作り/裁縫道具
青空		20日 (水)	10時~	富島 住吉公園	無	子育て中の親御さん、地域の方が集う場所♪

認知症の方を介護されている みなさん の つどい

認知症の方を介護されている方だからこその悩みや 不安を話してみませんか?

経験者から介護のコツやヒントが聞けることもあり ますよ。お気軽にお問い合わせください。

日 時:11月13日(水)13時~15時

場 所:北淡総合福祉センター

(地域支えあいセンター ほくだん)

参加費:50円(お茶代)

お問い合わせ

地域支えあいセンターほくだん まで

学びの広場

「学びの広場」は、地域の方が普段感じてい る福祉課題や、社協職員が体験して学んだこと などを、みんなで話し合い、共有する場です。 お気軽にご参加ください

次回予定

日 時:11月26日(火) 19:00~

場 所:北淡総合福祉センター

(地域支えあいセンター ほくだん)

参加費:無料(ご自由に参加できます)

~ お問い合わせはお気軽に ~

北淡地域の「福祉情報」や「地域情報」をお知らせする広報誌!!

地域支えあいセンター ほくだん 淡路市浅野南 2-40 電 話 0799-82-0922 FAX 0799-82-0913 Email hokudan@awaii-csw.or.ip

ひょっとこ(火男)"は障がい者だった

「"ひょっとこ"(火男)は障がい者だった」という説 があります。お祭りなどをおもしろおかしく盛り上げ てくれる、あの"ひょっとこ"が実は障がい者だった というのです。

何百年も昔、ある村に障がいのある子どもが生まれ ました。家族は朝早くから夜おそくまで畑仕事で忙し く、障がいのあるその子の面倒をみきれません。しか し、その子にも重要な仕事がありました。それは、か まどやお風呂の火の番をすることでした。

その子は、朝は家族の誰よりも早く 起きてかまどに火をたき、夜は家族が お風呂に入り終わるまでお風呂の火の 番をしました。

早朝から夜おそくまで"火ふき竹" を持って…

長い間そんな生活を続けているうちに口が"火ふき 竹"のようにとがってしまったというのです。

お祭りが始まるとどこからともなくやってきて、に ぎやかな笛や太鼓の音に合わせて、楽しそうにくねく ねと体をよじらせる。周りの村人も"ひょっとこ"を

見て笑ったり、馬鹿にするようなこと はなく、一緒になってくねくねと体を よじらせお祭りを楽しむ。

そんな光景があったとか、なかったと か??

"ひょっとこ"の由来には諸説があり、これが定説 というものはないようです。紹介した「障がい者説」 は比較的信憑性の低い説のようです。しかし、この説 には地域の夢があるように思いませんか??

淡路市社会福祉協議会は、

『一人ひとりを大切にできるまちづくり』を基本理 念に、「だれもが、住み慣れた場で、その人らしく暮 らせる、地域のしくみ、づくり」を目指しています。 「だれもが」とは、文字どおり生まれたての赤ちゃん から高齢者までの全ての住民を指しています。

編集·発行:淡路市社会福祉協議会

すなわち、高齢になろうと、認知症になろうと、障 がいがあろうと、住み慣れた地域で、地域に関わりな がら、地域が関わりながら自分らしく、いつまでも暮 し続けることができる仕組みをつくることが目標で、 このことを「地域福祉(の推進)」といいます。

"ひょっとこ"が暮らした村は、そんな村だったの かもしれません。

有名な昔話に"うば捨て山"があります。貧しい農 村で口減らしのために、高齢の母親を山奥に捨てに行 くという話です。しかし、この話の結末は、知識も経 験も豊富な母親がいなくなって、残された家族の生活 が立ち行かなくなるという後日談が付きます。

先の"ひょっとこ"も、現代では火を自在に操れる ところから、生命や富を与える象徴として神格化され ていることを考えると、どちらの話も「地域福祉」の 視点から捉えてみると興味深く感じませんか?









今回は、2008年(平成20年)8月発行の "すまいるほくだん" No.5表紙のコラムを再掲しま した。

現在、淡路市社会福祉協議会は基本理念をさらに進 化させ、『共生循環型地域社会づくり』としており、 同じ地域に住む人どうしが"たすけられたり、たすけ たり"できる地域社会づくりを進めています。



この広報誌が不要になった場合は、資源ゴミの「その他の紙類」としてリサイクルにご協力お願いします。

みんなの集い場 『自分さがしの森』に



【開催日時】令和6年12月6日(金)

10:00~14:00

【 開催場所 】 プレイパーク冒険の森 (淡路市楠本314)

11月のメニューはピザ (予定)です

参加費は500円(材料代)です

☆調理以外にも、森の整備や薪のこしらえ、はたま た火をゆっくりと眺めるだけでも参加の仕方は無 限です!

『自分さがしの森』は・・・

- みんなちがってみんないい場所です。
- ・閉じ込めがちな気持ちと身体を開放し、森の自然に 任せて緩やかに過ごせる場を目指しています。

こみゅにてい・フットサル交流会」

参加者募集



障がいのある方や家族、興味・関心のある方を対象に 「こみゅにてい・フットサル交流会」を開催します。

フットサルを通じて、交流・仲間づくりをしながら楽 しいひと時を過ごしませんか?スポーツが好きな方やは じめての方、スポーツを見ることが好きな方も最近ちょ

っと運動不足な方もお気軽にご参加ください!

『一緒にフットサルを楽しもう!』

◇日 時 11月30日(土) 14:00~16:00

◇場 所 浦小学校体育館(淡路市浦 701)

◇内 容 フットサルなど

◇対 象 障がいのある方や家族、興味・関心の

ある方ならどなたでも

(子どもさん、学生さん大歓迎!)

◇参加費 100円(保険代)

◇持ち物 体育館シューズまたは上履き、

飲み物、タオル、着替え等

◇申込締切 11月27日(水)

◇申込み・問い合わせ 淡路市社会福祉協議会

地域支えあいセンターひがしうら

74-4877 まで

"淡路市共同募金委員会" からのお知らせ



赤い羽根街頭募金に ご協力ありがとうございます

10月1日(火)にイオン淡路店にて、淡路市共同募金委員会の職員が街頭募金を行いました。住民のみなさんに共同募金の果たす役割をご理解いただき、自発的な意志をもって募金にご賛同いただけるように実施しています。明石海峡大橋デザイン



の「R6 赤い羽根オリジナル あわ神バッジ」や兵庫県共同募 金会マスコットグッズもご紹 介させていただきました。

地域支えあいセンターほくだん運営委員会でも、 10月19日(土)にあわじ花さじき様にて街頭募金を行いました。みなさまからお預かりした募金は、地域の身近なところ

で活用させていただきます。

たくさんの方々にご協 カいただき、ありがとう ございました。

◇職員 裏集◇

☆令和7年度 新規採用職員 募集中! 詳細はホームページまたは電話でお問合せ下さい

◎子育てや介護との両立も大丈夫です。

働くママさん、応援しています!

◎施設・事業概要見学は随時受け付けています!

お気軽にご連絡ください♡

・デイサービス(一宮)介助員嘱託・パート

・障がい者支援(作業所)支援員パート 1,088円/時 ~ ※資格所有者優遇! (ヘルパー1,138円) 介護福祉士1,158円)

・地域支援員(津名)パート

※住民活動を応援するお仕事です♡

1,088円/時~

ケアマネージャー (北淡・一宮)

嘱託職員給与 190,000円/月 ~ パート 1,200円/時 ~

お問い合わせ

淡路市社会福祉協議会

〒656-2132 淡路市志筑新島5-1(履歴書送付先)

電話 62-5214(担当:なぎ・やまさき)

サロン 通信

~ 知り合い"もどし"っておもしろい!~

いどばたサロン "ウィズ" の参加者は、必ずサロン前に 北淡総合福祉センター1 階で展開している "ふくふく市" で並んでいる野菜・手芸作品が「どんなのがあるかな?」 と見てからサロン会場のある2 階研修室に上がって来ら れます。部屋に入ると「野菜がなかったわ」、「あの袋よ かったなぁ」等と話されています。福祉センター玄関に 入ると真正面に色とりどりの "PP バンドのカゴバック" を並べているのですが、それを見た参加者が「私らも作ってみたいわ。教えてほしいなぁ」と呟かれました。そ こで出品者に連絡をし、参加者の熱い思いをお伝えする と「私で良かったら…」と快く引き受けていただきまし た。多忙な中、「カゴの底は作っておいた方がやりやすい から」と人数分の下準備までしてくれました。

当日、登場するや否や、顔をジーっと見つめる人や、「家はどのへん?」、「あれっ…□△の人け?」、と次々と質問があり、自己紹介ができないほどでした。

しかしその会話のやりとりから点と点がつながっていき、同時に笑顔が増えていきました。知っている人だったけどなかなか会う機会がなかっただけで、"知らない人"になっていたんだな…と分かりました。

最終的には知り合い"だった"ということが和やかな雰囲気を作ってくれることになりました。点がつながっ

り、"知り合いだった"というだけでこんなにも変わるもの: 本 なんだと横で見ていて感じました。知らない人もつながれ ば、"知り合い"になりますが、元々の知り合いという存在 ではさらに強い安心感につながるなとあらためて感じました。 た。

そんなことで気軽に聞けるようになったこともあり、わからないところがあればどんどん質問し、目標にしていた側面部分まで完成させることができました。ひとつずつ編んでいきながら、「きれいな色やなぁ」と次回の完成を楽しみにされていました。

カゴバックが目標のところまで作れたことはもちろん嬉しいですが、サロンに講師として来ていただいたことがきっかけで、その方が実は知り合いだった…そこから生まれた"安心"。知り合いの存在は本当に大きいと感じました。

今回のことをきっかけに、知り合い"もどし"をやるの もおもしろいかも!!と思いました。





~ 能登被災地支援報告~

石川県能登地方の震災から10カ月以上が経ちました

これまで、淡路市社協は、地域のお店などに募金箱の設置をお願いしたり、街頭募金活動などを行い石川県共同募金会などへ義援金を送らせて頂きました。

また住民の皆様にもご協力いただきながら救援物資 を送る活動も行いました。

人的支援としては、被災地の社協が運営する"災害ボランティアセンターへの職員派遣や、『能登福祉救援ボランティアネットワーク』という主に被災地の社会福祉事業所の支援を行う団体の活動を支援するかたちで、兵庫県内の市社協職員と共に能登へ足を運びました。

7月末には、現地の障がい者支援事業所とその隣に出来た仮設住宅や地域の住民との交流を目的とした夏まつりイベントを、本会の障がい事業所の利用者さんたちと屋台道具を持ち込んで開催させていただきました。





そんな中、9月下旬の豪雨により、再び能登は大きな被害をうけることとなりました。

急遽、都合のつく職員が集まり、南あわじ、豊岡の市 社協職員含めて7名で、障がい者支援事業所の作業場復 旧のため向かいました。

その事業所は川の近くという事もあり、床上浸水の被害を受けていました。数日前まで別のボランティアが作業をしていたようで、我々はある程度物が運び出された作業場の、かさ上げされた床部分を解体・撤去し、中の泥を出して掃除し、消毒を施し、廃棄するものを集積場へ運び込んだり、作業所周辺の側溝の土砂撤去などを行いました。

9月末とはいえ日中は気温が高い状況でしたが、限りのある日程の中で予定の活動を終わらせることが出来ました。 続く作業は、次のボランティアさんが引き継いで行ってくれたと SNS で知りました。

能登半島の被災地は度重なる試練に立ち向かわれています。今後も継続的に、できる支援を行っていきたいと考えています。